

第41回日本毒性学会 研究発表のご案内

<ポスター発表>

ポスター 7月3日(木) 17:00 - 18:00 ポスター・展示会場

免疫・血液毒性

演題番号: P-130 ○満元 達也

演題名: 幼若ラット(18日齢)における血液凝固系検査

概要:

幼若動物の安全性試験において血液凝固系検査は、採血量が少ないことから殆ど実施されておりません。発育過程にある幼若動物について、凝固系の変動を理解することは毒性評価上有益であると考えられます。そこで今回、18日齢の幼若ラットを用いて、血液・血液化学検査に加え、主に凝固因子の測定を含む血液凝固系検査を行いましたので報告いたします。

ポスター 7月4日(金) 13:30 - 14:30 ポスター・展示会場

生殖発生毒性

演題番号: P-238 ○日向野 蔵人

演題名: 妊娠および授乳ラットの血液凝固系パラメータ値の変動

概要:

ラットは生殖発生毒性試験のモデル動物として広く用いられていますが、妊婦で問題となる血栓リスク上昇のモデルとしての有用性も期待されます。我々はこれまで妊娠および授乳ラットで血液凝固系パラメータの多くが凝固を亢進する方向に動くこと、実際にワルファリンの抗凝固作用が軽減されることを明らかにしてきました。本研究では、凝固関連因子をより詳細に検索し、ビタミンKおよび性ホルモンの関与について検討を行いましたので報告いたします。

(以上、全て筆頭発表者のみ掲載)

※この他、弊社も参画しましたヒト iPS 細胞応用安全性評価コンソーシアムによる iPS 細胞技術に関するポスター発表も予定されております。(P-149、P-153)



株式会社

ボゾバイオサーチセンター